



図書館トピックス

ようこそ図書館へー小学生社会見学ー

2月14日(水)に志成学園3年生22人、2月16日(金)に小原小学校1、2年生9人がくにさき図書館の社会見学に来館しました。普段見ることが出来ないバックヤードも見学してたくさんの新しい発見がありました。



興導寺サロンへ行ってきました

コロナ直前からはじめた出前講座は30ヶ所目になりました。

図書館を知っていたきたく、市内どこでもお伺いします。

今回は2月20日(水)に興導寺地区をお訪ねしました。



図書館イベントカレンダー

3月9日(土) おはなし会 午前11時 武蔵図書館 安岐図書館

3月10日(日) おはなし会 午前11時 国見図書館

※くにさき図書館でのおはなし会およびあかちゃんおはなし会は休館のため3月のみお休みします。

休館情報(市内全館)

毎週月曜 図書館休館日 3/20(水) 春分の日

3/28(水) 月末整理日 (※毎月最後の平日は整理日で休館)

〜くにさき図書館休館のお知らせ〜

くにさき図書館は改修工事および蔵書点検のため3月31日(日)までの期間休館します。休館期間中も資料のご予約などはお受けします。電話にてお問い合わせください。資料の返却は1階の返却ポスト、社会教育課へお願いします。

なお、国見図書館、武蔵図書館および安岐図書館は通常どおりご利用いただけます。

司書のイチオシ

「紙つなげ!彼らが本の紙を造っている 再生・日本製紙石巻工場」 佐々涼子/著 早川書房

日本製紙石巻工場は2011年3月11日の東日本大震災で甚大な津波被害を受けたが、出版用紙製造の主力工場として早急な復興が求められる。工場再稼働までの半年間の奮闘を綴るノンフィクション作品。



毎年この時期になると手に取る1冊です。年月が経っても復興に携わった方々の想いが伝わってきます。

くにさき図書館 姫野 えみ子

国東中学校(3年生)のイチオシ

「夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く」 汐見夏衛/著 スターツ出版

周囲の空気を読み、優等生を演じる女子高生・茜が、最初は苦手だった自分とは正反対の自由奔放で絵を描くことが好きな男子生徒・青磁と関わり、本来の自分を取り戻していき、お互いに惹かれていく姿が描かれる作品。



人生に行き詰まった2人が立ち直っていく姿に勇気をもらいました。ぜひ読んでください。私は将来、人を笑顔にする職業に就きたいです。

国東中学校3年 中本 さやかさん

- 国見図書館 ☎82-1585
くにさき図書館 ☎72-3500
武蔵図書館 ☎69-0946
安岐図書館 ☎67-3551



「外国人」に対して偏見を持っていませんか?

文責: 社会教育課 田中 清照

本年1月下旬、地元新聞にいくつかの気になる記事が掲載された。それは「外国人」に関するものであった。

一つは、特定技能実習生に対して母国の「送出国」から「妊娠を制限する指導」があったというものであり、関連して「国内の登録支援機関からも同様の指導がなされていた」というものであった。

技能実習制度が始まって30年が経過した。この間、賃金不払いやパワハラ、過酷な労働条件など数多くの人権侵害が指摘されてきた。法務省は、かねてより「妊娠などを理由とした技能実習生に対する不利益取扱いについて」注意喚起していたが、令和4年に改めて調査した結果、技能実習生の26.5%が送出国や国内の監理団体から「妊娠したら仕事を辞めてもらう」と言われていたことが分かっている。

妊娠・出産を理由とする不当な扱いは、男女雇用機会均等法で禁止されている。これは、国内の外国人労働者に対しても同様である。
続いて「外国出身の日本在住者が国などを提訴した」という記事である。
「外見理由の職務質問は人種差別的で違憲である」と訴えたもので、日本国籍や日

本に永住権を持つ外国人にルーツを持つ3人が日常生活の中で繰り返し職務質問を受けたことは人権侵害であるとして国などを訴えたというものである。
日本で暮らす外国人や外国にルーツを持つ人たちに対して「客観的証拠や個別の行動ではなく、人種や肌の色、国籍などを理由にした差別的な職務質問(レイシャル・プロファイリング)」が問題になっている。

令和5年時点で国内在留外国人は320万人、外国人労働者は200万人(技能実習生・特定技能実習生は約55万人)を越えているという。外国人は今、日本各地で貴重な存在として地域社会、産業を支えている。高齢化と人口減少が進む日本社会では、今後ますます外国人に対する依存度が高まっていく。

「多文化共生」が言われはじめて久しい。その中で、これらの記事は「日本社会の人権状況が国際社会から大いに遅れている」ことに気づかせてくれる。技能実習生を労働力とだけみならずような風潮、外国人が増えるのと治安が悪化するというような考え方の裏にある「外国人に対するさまざまな偏見」を見直していく必要がある。



教育の里 あらかると

小原小学校 人権の花運動感謝状贈呈式

1月25日(水)、「人権の花運動指定校」として運動に取り組んでいただいた小原小学校に感謝状が贈呈されました。「人権の花運動」は、小学生を対象とした法務省の啓発運動で、花の苗や球根などを育てることで命の尊さを実感し、優しさと思いやりの心を育むことを目的に行われています。

小原小学校では、「咲かせよう人権の花〜守ろう34人の笑顔 育てよう人権の心〜」をスローガンに、全員で種から花を咲かせ、冬休みの前には地域の方々にパンジーの鉢苗を贈り、喜んでいただきました。

小原小学校で育てられた花の種は、次の指定校(日出小学校)に贈られ、人権の輪を広げていきます。

